



一外国語活動のミニ研修・授業参観・研究授業を通して一

本務校海陽小でも外国語活動の校内研修が進んでいます。

本日は、校内研究授業を行いました。また、5・6年の学級担任以外の先生方の授業参観も進んでいます。

今回は、海陽小の様子を紹介します。

海陽小の外国語活動研修

● ミニ研修&授業参観&研究授業

▶ ミニ研修〔6月20日（月）より〕

これまでに5回ほどのミニ研修（各回15分程度）を実施しています。（月1回程度、学年研修前）

1回につき1テーマといった感じで、できるだけ体験的なものを盛り込むように考えて行っています。

▶ 授業参観（授業体験）〔10月24日（月）より〕

5・6年生の先生方は、毎時間何らかの形で外国語活動の授業に携わっていますが、これまで外国語活動の授業参観の経験がない先生方もいらっしゃることから、校内体制に配慮いただき（補欠体制を組んでいただくなど）、1～4年生の先生方の授業参観（体験授業）を行っています。（これまでに10人ほどの先生方が実施しました）

▶ 研究授業（全校参観授業）〔11月25日（金）実施〕

5年2組（二宮学級）をお借りして、全校の先生方に一斉に参観いただく研究授業を行いました。

単元はHi, friends! 1 Lesson 8「夢の時間割をつくろう」、全5時間の4時間目です。

曜日や教科の英語での言い方に慣れ親しむための様々な活動を参観していただきました。

ここでの望ましい児童の姿（イメージ）は、「いつの間にか単語や表現が言えるようになった！言っていることがわかるようになった！」というものです。

「体験を通して」学ぶというのは、小学校英語（外国語活動）の基本的な学びの姿です。



小学校英語（外国語活動）は、質も大事！量も大事！

小学校英語に関するベストセラーの書籍の一つに、バトラー後藤裕子氏の『英語学習は早いほど良いのか』（岩波新書）があります。

「英語学習はいつから始めるのが効果的なのか、5年生からでよいのか、1年生からやった方がよいのではないのか」

小学校への外国語活動導入時にも、そして学習指導要領改訂を目前にした今も話題に上るテーマの一つです。

興味を持たれた方はぜひご一読いただきたいと思います。一言で言えば筆者は、「早期開始より外国語学習の量と質が大切である」と述べます。「質のよい学習をできるだけたくさん行うことが外国語の熟達度を高めることにつながる」と言うのです。そして、開始年齢については、子どもの発達上の特性等さまざまな理由を考慮して、「3年生あたりからの導入が、より大きいメリットを期待できる」と述べています。

ここまで読んでさらに興味を持った方はぜひ！